

付録B. 裏込石の切断方法

B.1 裏込石切断線罫書き (図-B.1)

最も鋭利な部分を頂点とした円錐または角錐を想定し、径が最も大きくなる (最大100 mm) 底面部分を切断面とする。この時、平面から見て頂点が切断面の中心付近に位置するようにする。

B.2 裏込石切断

(1) モルタル打設 (図-B.2)

- ①切断を容易にするため、裏込石周辺にモルタルを打設し、台座を作製する。
- ②モルタル打設前に位置決めを行うため裏込石下部に碎石を敷設する。
- ③モルタル底面部および裏込石の表面にはサララップを敷設しておく。
- ④W/C=約37%, S/C=2でモルタルを作製し打設する。
- ⑤モルタル打設後、温度30℃、湿度80%で24時間養生し、その後室内条件にて半日間養生する。

(2) 裏込石切断 (図-B.3)

- ①アスファルトカッターにより裏込石を切断する。
- ②切断後裏込石表面を洗浄する。

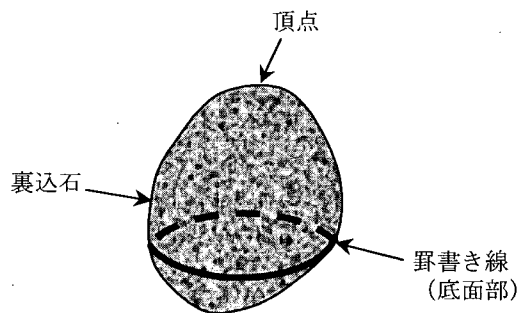


図-B.1 裏込石切断線罫書き

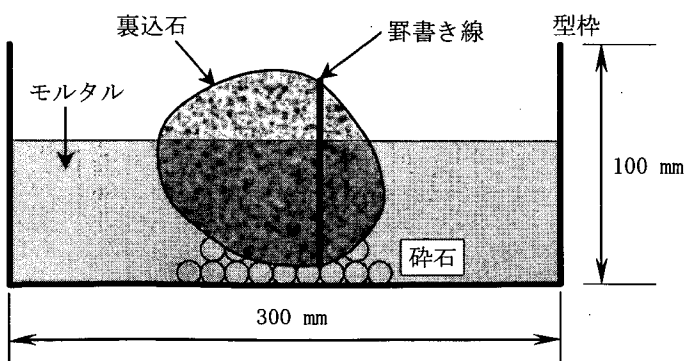
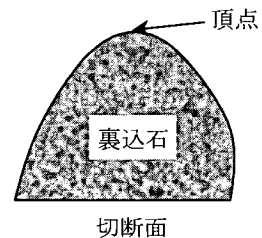


図-B.2 モルタル打設



切断面

図-B.3 裏込石切断